

平成30年度地域政策推進事業一覧

(単位:千円)

番号	創生 企業 コラボ	新規 ・ 継続	事業名	事業期間 (年度)	事業概要	事業費	
1	創生	新規	空知地域人材確保・ 定着推進事業	30 ~ 32	空知の経済活力を維持し活性化を図っていくため、人材が不足している製造業等の分野において、新規学卒者など若者を中心とした人材の確保・定着を推進する。	750	
2	創生	継続	空知型観光まちづくり 推進事業	28 ~ 31	国内外から観光客を呼び込むことができる魅力的な観光地づくりを進めるため、これまでの旅行商品やモデルルートに、空知ならではの地域資源にまつわる観光素材の魅力を加え、地域における観光の裾野を広げるための取組を展開するとともに、国内外への情報発信を行う。	5,681	
3	創生	継続	空知地域食品ブランド化・ ワイン産地づくり強化事業	29 ~ 31	空知地域の食のブランド化や空知産ワインの産地基盤づくりを推進するため、地場産品を活用した新たな商品開発による高付加価値化やワイン生産者への支援を行うとともに、道内外へのプロモーション等により販路拡大を図る。	2,586	
4	創生	継続	空知農業振興事業	27 ~ 31	地域の基幹産業である農業の新しい姿を目指し、地域の取組を支援することにより、地域農業を理解し、将来の農業・食品関連産業を支える人材の育成を図る。	1,885	
5	創生	継続	集落コミュニティ再生 事業	29 ~ 31	農村集落の維持・活性化に向け、集落づくりを主体的に行おうとする住民の誇りと意欲を醸成し、集落のコミュニティの強化と交流等の取組を促進する。	772	
6	創生	継続	空知産業遺産活用 促進事業	27 ~ 31	平成20年度に策定した「元気そらち！産炭地域活性化戦略」に基づき、炭鉱遺産群を活用した観光・まちづくりを図る。	2,634	
7	企業	継続	産業遺産シビックプライド 醸成事業	28 ~ 30	空知地域の炭鉱遺産群をはじめとした産業遺産の魅力ある地域資源を活用し、地域住民の「シビックプライド(地域に住む人々の誇りや自信、アイデンティティ)」を醸成し、産炭地域の活性化を推進する。	1,092	
8	コラボ	継続	北海道空知魅力発信 事業	28 ~ 31	「空知」ならではの観光・物産やライフスタイル、生活環境などに関する情報を総合的に発信し、空知地域に対する関心や理解度の向上、首都圏等での知名度向上を図り、人とモノの流れの創出をめざす。	6,435	
9	150年	新規	そらち障がい者スポーツ 推進事業	30	「北海道障がい者スポーツ大会」(H30.7.22岩見沢市・美瑛市)の開催を契機として、北海道教育大学岩見沢校と連携し、障がいの有無に関わらず誰でも楽しむことができる「アダプテッド・スポーツ」等を推進する事業を実施する。	300	
空知総合振興局						地域創生推進事業 6事業(新規1事業)	14,308
						企業版ふるさと納税活用事業 1事業	1,092
						地域政策コラボ事業 1事業	6,435
						北海道150年事業 1事業(新規1事業)	300
						合計 9事業(新規2事業)	22,135
1	創生	継続	いしかり元気な農村 ビルドアップ事業	27 ~ 31	ドローン等を活用した先進的な省力化農業技術の普及を図り、大規模農家の経営の安定化により、農業者の定住や農業後継者の確保を目指すとともに、都市住民へ農業・農村の魅力等の発信や農商工連携・6次産業化を支援することで、都市と農村の交流を推進し、農村地域の活性化を図る。	1,397	

2	創生	継続	「ようこそいしかり」 誘客促進事業	27 ~ 31	新千歳空港からのアクセスの良さや、都市と自然との共存、豊富な食・観光資源など、石狩が持つ地域特性を活かして国内外に管内の魅力をPRし、管内への誘客を促進するとともに、LCC就航や新幹線開業の効果を活かした国内外の交流人口の拡大を図る。	4,345	
3	創生	継続	シェフを活用した石 狩ブランドづくり事業	28 ~ 31	地域のこだわりの生産物を「石狩ブランド」に導くため、具体的な生産物(食材・加工品)を求める食・調理の専門家であるシェフ(料理人)を対象とした生産者との交流を推進する。	640	
4	創生	継続	いしかり農業福祉 パートナー活用事業	29 ~ 31	農業分野及び障がい者福祉分野の業界相互の理解を醸成しつつ、障がい者就労支援施設への農作業の委託により、不足する農業労働力の補てんなど、いしかり農業の生産力の維持・確保と障がい者の就労機会の拡大を図る。	648	
5	創生	継続	カムバック&ウェル カム・イシカリ事業 (若者定着プロジェ クト)	29 ~ 31	石狩管内の大学生との連携による地域活動や移住・定住の促進の取組により、若者の地元定着や人材還流を促進し、人口の社会減を緩和する。	1,163	
6	創生	継続	石狩地域エゾシカ対 策事業	29 ~ 32	札幌市などの人口密集地における安全かつ有効な捕獲方法の検討を行い、市町村駆除等によるエゾシカの捕獲数の増加を図る。	1,758	
7	創生	新規	地域特性を活かした 総合的な少子化対 策推進事業	30 ~ 31	管内の出生率向上に向け、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりなど少子化対策の取組を推進する。	315	
8	創生	新規	石狩地域自転車活 用促進事業	30	自転車利用に関する条例化等の動向を踏まえ、サイクリングの振興と自転車の安全な利用を啓発する事業を実施することで、石狩地域での自転車の利活用の推進に寄与する。	454	
9	創生	新規	地域防災力強化事 業	30	避難勧告・指示により、住民が適切にスムーズに避難行動を行うことができるよう、住民の防災意識を高める取組等を通じて、地域防災力向上を図る。	380	
10	コラボ	継続	「さっぽろ圏」若者定 着促進広域連携事 業	29 ~ 31	札幌圏における人口減少問題に適切に対応するため、道や市町村をはじめとする関係機関の連携体制の下、札幌圏への人材還流や学生の定着促進に向けた取組を実施する。	4,660	
11	150年	新規	イシカリ150プロ ジェクト	30	石狩地域が題材となっている文学作品(漫画、絵本など)の選定や読み聞かせ等を展開し、地域への愛着の醸成を図る。	791	
石狩振興局						地域創生推進事業 9事業(新規3事業)	11,100
						地域政策コラボ事業 1事業	4,660
						北海道150年事業 1事業(新規1事業)	791
						合計 11事業(新規4事業)	16,551
1	創生	継続	家と人の循環による まちづくり	27 ~ 31	「しりべし空き家BANK」の活用と機能を拡大し、新規居住者へ住宅供給を増やすとともに、行政と民間が取組を展開することにより景観資源を活かしたまちづくりを行う。	923	
2	創生	継続	ShiriBeshi農林水産 業確立プロジェクト	27 ~ 31	地域を支え発展させる力強い農林水産業を確立するため、後志が誇る農林水産物の高付加価値化、ブランド化、利活用拡大を図る。	1,919	

3	創生	継続	ShiriBeshi観光のグリーンシーズン誘客事業	28 ~ 31	スポーツツーリズムや文化・教育などグリーンシーズンの多様なコンテンツを最大限活用した魅力ある観光地づくりを進めることにより観光誘客を実施。	2,944	
4	創生	新規	Shiribeshiグローバルワークプレイス推進事業	30 ~ 32	道内外や海外から多様な人材を発掘・確保し、就業・起業を促進しながら、彼らが活力を持って働く場所(グローバル・ワークプレイス)を構築し、働き手を確保する	2,660	
5	創生	継続	ShiriBeshi世界へのゲートウェイ化事業	27 ~ 31	近隣振興局も含めた物産展及び食関連事業者と飲食店による商談会等を開催。海外ニーズの把握、情報収集を行う。	2,773	
6	創生	継続	北海道新幹線開業等”しりべし”交流拡大推進事業	27 ~ 31	北海道新幹線の全線開業を地域経済の活性化に結びつけていくために必要な産業振興策とその基盤となる駅及び駅周辺施設等の機能や二次交通のあり方を検討する組織を立上げ検討体制の構築を図る。	711	
7	創生	継続	道央・道南地域広域観光推進事業	28 ~ 31	道央・道南地域の広域観光を推進するため、各地域間で連携して受入体制の整備を行い、魅力ある観光情報を発信する広域的な観光プロモーションを行う。	1,270	
8	コラボ	継続	しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプラン推進事業	29 ~ 31	冬季のリゾート地域の豊富な労働力を夏季の農業等人手不足分野に結びつけ、移住人口の拡大を図るとともに、移住者への総合的な支援体制を整備し、通年雇用化等による定住を推進。	3,000	
9	コラボ	継続	ShiriBeshiグローバル人材育成プラン	29 ~ 31	国際リゾートが複数展開(ニセコ・ルスツ・キロ)し、外国人観光客や外国人住民が多い国際性豊かな後志の地域性を活かし、国際力・起業家精神・地域への誇りを有したグローバル人材の育成に取り組む。	2,500	
後志総合振興局						地域創生推進事業 7事業(新規1事業)	13,200
						地域政策コラボ事業 2事業	5,500
						合計 9事業(新規1事業)	18,700
1	創生	継続	いぶりの「食ブランド」レベルアップ事業	27 ~ 32	胆振管内の食の魅力を上向きさせ、地域住民はもとより道内・道外への情報発信を強化するため、生産基盤の維持強化や食の磨き上げ並びに魅力発信に関する事業を実施する。 これにより、胆振管内への交流人口の拡大や産業の発展による就労の場の確保についても資するものとして事業を展開する。	4,152	
2	創生	継続	「いぶり・6次観光」促進・情報発信事業	27 ~ 32	胆振管内は道内でも特筆できる工業地帯であり、工場夜景を始めとする産業観光のコンテンツを有している他、登別や洞爺に代表される道内有数の観光地を抱えていることから、これらを複合させ、ターゲットを定めた効果的な情報の発信を行うことにより交流人口の増加を図る。	3,138	
3	創生	継続	胆振四大遺産等地域資源活用事業	27 ~ 32	世界的な価値を有する胆振四大遺産(「洞爺湖有珠山ジオパーク」・「縄文遺跡群」・「アイヌ文化」・「むかわ竜」)を核に、管内の多様な魅力を管内内外に向け総合的に発信することで、自らの地域に対する住民の誇りの形成を通じた地域の活性化を促すとともに、胆振地域への誘客を促進し、交流人口の拡大を図る。	2,088	
4	創生	新規	宮蘭航路利用促進事業	30 ~ 32	平成30年6月の室蘭と岩手県宮古を結ぶフェリー航路の就航を契機に、胆振・岩手県沿岸の両地域で連携して利用促進に取り組み、交流人口の拡大を図る。	756	

5	創生	新規	象徴空間PR事業	30 ~ 32	白老町ポロト湖畔に整備される民族共生象徴空間(国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園等)の開設(2020年4月24日オープン)をアイヌ古式舞踊をはじめとしたアイヌ文化を通じ、管内外に向け情報発信し、地域の機運醸成を図るとともに、胆振地域への誘客を促進し、交流人口の拡大を図る。	803
6	創生	継続	胆振ものづくり産業・林業活性化推進事業	27 ~ 32	胆振地域の優れた技術力を背景に開発されたキラッと光る製品等に焦点をあて、製品の高付加価値化を図るとともに、積極的なプロモーション活動や地元商圏の拡大に向けた企業立地推進、次の世代を担う人材育成等の取組等を通じて、管内ものづくり産業の振興を図るとともに、地域経済を支える林業においても、就業環境の改善や林業の魅力の情報発信により森林資源循環を進めるための担い手の確保に向けた取組を実施する。	1,163
7	コラボ	継続	住みたい・訪れたい「いぶり」地域連携事業	28 ~ 32	胆振地域への移住・定住の促進及び交流人口の拡大を図るため、管内市町と連携し、移住フェアへの合同出展や、世界的な価値を有する洞爺湖有珠山ジオパークやむかわ竜を中心に胆振四大遺産の魅力発信の実施を通じ、地域創生に向けた取組を推進する。	4,604
8	150年	新規	「胆振150年記念フォーラム」開催事業	30	胆振の150年の歴史を振り返るとともに未来へ向けた「IBURI」のグランドデザインを描く記念フォーラムを開催する。	673
胆振総合振興局						12,100
地域創生推進事業 6事業(新規2事業)						4,604
地域政策コラボ事業 1事業						673
北海道150年事業 1事業(新規1事業)						17,377
合計 8事業(新規3事業)						
1	創生	継続	ひだか戦略総合情報発信事業	28 ~ 32	日高管内のあらゆる地域資源を活用した魅力発信を行うとともに、地域資源の発掘・磨き上げや観光人材の育成等を行い、日高管内の知名度向上とイメージアップを図り、交流人口の増加につなげる。	4,570
2	創生	新規	日高食関連産業振興事業	30 ~ 32	日高振興局管内が有する多様な食資源を活かした商品開発・磨き上げを促進する取組を進める。また、日高振興局管内が有する多様な産品を道内外の流通業者に紹介するとともに、札幌圏での日高特産品の販売・PR等により、消費者に向けた認知度向上の取組を行い、地域の特産品の消費拡大を図る。	662
3	創生	継続	馬産地対策・観光推進事業	28 ~ 32	日高地域が有する多様な食や観光資源を広く道内外に紹介するとともに、全国のサラブレッドの約8割を生産する馬産地日高の特色を活かし、ホッカイドウ競馬(門別競馬場)をはじめ、馬を活用して地域の魅力をPRすることにより、日高のファンや誘客を促進して交流人口の拡大を図る。	1,779
4	創生	継続	農林業被害低減のための鳥獣被害対策事業	28 ~ 32	日高管内のエゾシカによる農林業被害額は、4.4億円と前年と比べ減少しているが、生息数等は未だ高い水準にあることから、その数の低減を図ることが必要であり、エゾシカ個体数の減少と農林業被害の低減を図るため、エゾシカの捕獲促進及び有効活用の拡大を図る。 また、ヒグマによる農業被害防止等のためデントコーン畑に侵入したヒグマの追い出し及び捕獲方法等の確立を目的とする。	575
5	創生	継続	日高アイヌ文化魅力発掘事業	29 ~ 31	平成32年の東京オリパラに向けアイヌ文化のPR活動が活発化する中、「日高アイヌ」としてカテゴライズした魅力の発掘・発信に取り組むことにより、アイヌ文化を軸とした地域づくりと交流人口増加を目指す。	1,469

6	創生	継続	日高軽種馬産地活性化推進事業	28 ~ 32	日高が持つ「全国で唯一の馬産地」「温暖少雪な気候風土」「港・空港に近い立地」といった強みを生かし、軽種馬生産の構造改革や馬関連産業の育成、新規就農者の育成・確保に取り組み、地域の活性化を図る。	1,331	
7	創生	継続	日高地域コンブ生産安定対策事業	27 ~ 31	日高管内の基幹漁業であるコンブ漁業については、厳しい漁業環境を背景に、着業者の減少と高齢化が進行するとともに、生産量が年々減少しているため、新たな漁業生産体制の整備や漁場環境の適切な把握など、総合的な対策を進め、コンブ漁業の生産安定を図る。	514	
8	コラボ	継続	オールひだか魅力発信推進事業	29 ~ 32	平成29年度の高規格幹線道路日高自動車道日高厚賀IC開通を契機として、広域的な取組を行い、地域の気運を醸成するとともに、地域資源の活用促進や地域の魅力向上と発信力強化に向け、国や日高管内各町、関係機関等が連携してプロモーション活動などを実施することにより、管内観光入込客数の増加を図る。	3,899	
9	コラボ	新規	様似町アポイ岳における日本ジオパーク全国大会に関連した魅力発信事業	30	平成30年度に開催される「日本ジオパーク全国大会・アポイ岳(北海道様似町)大会」(仮称)において、道内外でのPR等の支援を通じて、ジオパークの魅力発信を推進する。また、松浦武二郎とゆかりのある様似町での全国大会において、北海道150年事業に関するPRを行う。	1,601	
日高振興局						地域創生推進事業 7事業(新規1事業)	10,900
						地域政策コラボ事業 2事業(新規1事業)	5,500
						合計 9事業(新規2事業)	16,400
1	創生	継続	「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進事業	27 ~ 31	世界遺産登録を見据える縄文について、地域住民の理解促進・ファン拡大等の取組を強化することに加え、地域資源としての魅力を高めるためのコンテンツの磨上げ及び活用を、地元の関係機関と連携して推進することで、世界遺産登録に向けた地元の気運醸成を加速させる。	1,430	
2	創生	継続	道南地域食振興ネクストステージ事業	27 ~ 31	北海道新幹線開業を機に道南地域の食の魅力の更なる向上とブランド力の強化を図るため、優れた産品を産出する一次産業と二次・三次産業の交流の機会を通じて新たな食の魅力創造するとともに、道南の優れた食材の認知向上を図りながら海外展開を含めた販路を拡大するため、商品の磨き上げや商談会を通じて食に携わる人材のレベル向上を図る。	2,470	
3	創生	継続	北海道新幹線開業による観光地域づくり推進強化事業	27 ~ 31	北海道新幹線開業効果を地域において最大限享受できるようにするため、道南を初めて訪れた方々がリピーターとなっただけのよう広域観光の取組を強力に進めるとともに、青森県との連携による青函広域観光を推進する。	2,270	
4	創生	継続	渡島スマートアグリ構想推進事業	27 ~ 31	将来の農家人口半減の予測を踏まえ、渡島農業の基幹をなす施設園芸を中心とした複合経営の効率化・高度化(=スマートアグリ化)を図ることにより、人口減少社会に対応した持続可能な次世代型営農スタイルの構築を目指す。	1,968	

5	創生	継続	農と浜のコンパクトツーリズム促進事業	27 ~ 31	北海道新幹線の開業により増加が見込まれる教育旅行や観光客を対象とした体験観光の受入体制を整備し、その情報を広く発信し、周辺農・漁村部への入り込みを促進。地域ごとの取組を連携させていくことで、交流人口の拡大や体験観光を推進し、地域産業の振興等による農山漁村の活性化を図る。	390	
6	創生	継続	みんなですすめる木づかいプロジェクト!	27 ~ 31	地域材(道南スギ)を活用した、新たな利用方法の展開を検討するため、既存の木づかいプロジェクト及び地元大学生等と屋台・空き家のワークショップの活動を実施し、併せて林業・木材産業への理解・就業促進を図る。	1,970	
7	創生	新規	ブリの消費拡大推進事業	30 ~ 31	ブリの消費拡大やブランド化などを進めることにより魚価の向上を図り、漁業者の所得安定に繋げるとともに、ブリの新商品開発等により、近年、イカ原料不足で苦境にあえぐ加工業者の補完材料としての活用促進を目的に本事業を展開する。	930	
8	創生	継続	渡島水産塾～担い手育成推進事業	27 ~ 31	渡島管内の新規高卒予定者を対象に、実践的な体験学習を実施する。これにより、漁業への就業意欲を高め、新規就業者の確保及び人口減少の抑制を図る。	579	
9	創生	継続	就業・定住促進対策推進事業	27 ~ 31	北海道新幹線開業を契機に、渡島地域の農林水産業・医療介護福祉分野への就業と定住を推進するため、市町との連携を図りながら就業情報や定住に必要な生活・住宅情報を一元化し、広く発信するとともに、就業モニターツアーを実施することで管外からの新規就業者を呼び入れ、産業振興と地域の人口減少問題への対策を図る。	493	
10	コラボ	継続	おしま交流人口拡大促進事業	29 ~ 31	新幹線開業による更なる交流人口の拡大を目的に、外国人観光客の満足度を高め、外国人が個人で周遊できる地域とするための受入環境整備や、管内市町が連携、協力したスポーツ合宿受入体制の構築、誘致活動の実施の支援等について、市町と連携して実施する。	6,043	
11	150年	新規	渡島歴史文化フォーラム・ワークショップ	30	渡島地域で受け継がれてきた歴史や文化をテーマとしたフォーラムや子どもを対象としたワークショップを開催する。	960	
渡島総合振興局						地域創生推進事業 9事業(新規1事業)	12,500
						地域政策コラボ事業 1事業	6,043
						北海道150年事業 1事業(新規1事業)	960
						合計 11事業(新規2事業)	19,503
1	創生	新規	檜山の水産物付加価値向上対策事業	30 ~ 31	漁業者、加工流通業者、行政機関等が連携して、漁業者の更なる所得向上と地域経済の活性化を図るため、檜山管内の水産物の付加価値向上を図る。	780	
2	創生	継続	檜山地域における新幹線観光対策事業	27 ~ 31	北海道新幹線開業を生き、檜山地域への観光客の流入促進及び経済波及効果を楽しむため、重点的に檜山地域の食の磨き上げ、販路拡大及び観光振興の取組を推進する。	7,690	

3	創生	継続	檜山農業生産力底上げ・人づくり推進事業	27 ~ 31	既存作物の生産性向上や新たな作物や技術の導入等により生産力の底上げを図るとともに、地域の担い手の育成・支援体制の整備支援や就農モデルケースへの集中支援により人（農業担い手）づくりを進め、檜山地域の経済・社会を支える檜山農業の持続的発展を図る。	870
4	創生	継続	みんなで学棒（まなぼう）檜山の木利用促進事業	27 ~ 31	道南地域特有の造林樹種である「スギ」について、檜山管内での需要拡大を図り、スギの利用を道内に広く波及させるため、建築関係者等との検討会議を開催するとともに、教育機関と連携した地材地消講座や一般消費者に対する普及PRを実施する。	440
5	創生	継続	輝け地域おこし協力隊！交流連携プロジェクト事業	29 ~ 31	交流人口拡大のため、研修会の開催等により、地域おこし協力隊の地域力アップを図るとともに、地域おこし団体等による文化・歴史を通じた交流事業等、津軽海峡交流圏の形成を推進する事業を実施する。	1,120
6	コラボ	継続	海・山・川！！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	29 ~ 31	バリアフリー対応型のホテルやフェリーなど檜山管内の独自のストックを生かし、高齢者や障がい者が楽しく観光を体験できる環境を整えることで、周辺地域のバリアフリーレジャーの拡大を図り、障がい者等当事者だけでなく、その家族、友人などの管内への誘客促進につなげる。 また、管内7町が一体となり取り組むこと、さらに従前にはなかった福祉と観光が連携した視点で観光資源の磨き上げを行うことで、バリアフリー観光マーケットのみならず、着地型観光の振興や来たるべき高齢者社会における観光客受入体制の整備にもつなげていく。	9,676
檜山振興局					地域創生推進事業 5事業（新規1事業）	10,900
					地域政策コラボ事業 1事業	9,676
					合計 6事業（新規1事業）	20,576
1	創生	継続	道北地域交流人口拡大推進事業	27 ~ 31	交流人口の拡大により道北地域の地域振興を図るため、北部においては天塩川、中部においては大雪山をテーマとして地域の魅力を発信するとともに、貴重で豊かな自然環境を保全する取組も併せて実施する。	3,489
2	創生	継続	「食」や「食文化」を観光資源とするフードツーリズム推進事業	27 ~ 31	「食」や「食文化」をテーマとした新たな旅行商品の提案や既存の旅行商品に、「かみかわ食べものがたり」をベースとした「食」や「食文化」にまつわる観光素材の魅力を加え、地域における観光の裾野を広げるための取組を展開し、上川地域への誘客促進を図る。	2,784
3	創生	継続	持続可能型上川農業確立推進事業	27 ~ 31	今後の人口減少に対応した持続可能な農業を確立するため、ビニールハウスによる施設園芸へのICTを活用した省力化技術導入や、水稻や転作作物の低コスト・省力化技術の確立、収益性の高い新規作物の導入検討など、さらなる省力化・高収益化に向けた取組を推進する。	1,307
4	創生	継続	地域森林資源利用推進プロジェクト事業	27 ~ 31	管内では、人工林資源が利用期を迎えており、地域での森林資源の循環利用を推進するため、地域材の利用を加速させる必要があり、林地未利用材を有効活用した木質バイオマスのエネルギー利用促進や道産材家具の利用を拡大することにより、地域特性に応じた資源管理体制を構築し、山村地域の活性化を図る。	908
5	創生	継続	かみかわ地域産業担い手対策事業	27 ~ 31	今後の人口減少社会を見据え、地域全体を支える産業（農業・林業・商工業）の担い手・後継者を確保・育成するため、地域において産業別の課題に応じた取組を進めるとともに、道外に向けて上川地域の魅力をPRするなど振興局各課が一体となって事業を展開する。	3,937

6	創生	継続	スポーツ合宿ブランド化等推進事業	28 ~ 32	2020年の東京オリンピックの開催を控え、スポーツ合宿誘致に係る機運の高まりなどスポーツへの注目が集まっている。このため、関係市町村や関係機関等と連携し、地域の実情・実態に応じた合宿の誘致のほか、スポーツ活動に取り組む人たちの裾野を広げ、地域の活性化を図っていく。	426	
7	創生	継続	かみかわ地域連携創出事業	27 ~ 31	地方創生の取組として市町村が策定した総合戦略の効果的な推進及び地域の持続的発展を図るため、振興局、市町村、団体・企業等管内の多様な若手が参加する「かみかわ未来会議」を開催し、上川地域の広域人的ネットワークの形成の構築を図るとともに、地域ぐるみでの教育を目標としたコミュニティ・スクールの推進を知事部局として応援、首長部局の職員等を対象としたセミナーを開催する。	1,149	
8	企業	新規	「未来づくり感響プロジェクト」事業	30 ~ 34	豊富な森林資源を背景に発展してきた旭川家具の将来の担い手確保や需要推進を図るため、旭川家具の生産や木材加工等に携わる幅広い関係者が連携し、旭川家具の魅力や優位性等に対する理解を促進するために、中学・高校等で活用できる学習ツール(学習プログラム、教材、テキスト等)を検討・制作し、トライアル授業の実施を通して検証・改良し、普及を図る。	1,000	
9	コラボ	継続	大雪の魅力発信事業	29 ~ 33	旭川圏による大雪カムイミントラDMO法人設立などを契機として、大雪山をはじめとする観光資源について管外からの来訪者の動向及び潜在的なニーズなど関係者と共有した上で、自然や産業、文化など地域ブランド向上や来訪者の消費増加、長期滞在化に向けた方策の検討を進め、域内への経済波及効果の高い観光地づくりを推進する。	5,496	
10	150年	新規	松浦武四郎の絵本制作事業	30	天塩川周辺地域の市町村と連携し、北海道150年のキーパーソンである松浦武四郎の功績及び天塩川の魅力を道内外の子どもたちにわかりやすい形で発信し、北海道150年のPRと幅広い層への本道の歴史の理解促進を図ることを目的とする。	1,000	
上川総合振興局						地域創生推進事業 7事業	14,000
						企業版ふるさと納税活用事業 1事業(新規1事業)	1,000
						地域政策コラボ事業 1事業	5,496
						北海道150年事業 1事業(新規1事業)	1,000
						合計 10事業(新規2事業)	21,496
1	創生	継続	るもいの豊かな海と森を育む事業	27 ~ 31	留萌管内の豊かな水産資源や森林資源を持続的に有効活用するため、関係機関と行政が連携し、海と山が一体となった取組や新たな販路拡大の仕組みづくりなどを行い、地域の産業振興や雇用確保を図る。	1,241	
2	創生	継続	留萌健康産業展開促進事業	27 ~ 31	留萌地域の特性を活かした健康産業を展開し産業としての確立を促すため、地域資源の活用や地域住民等との連携により各種プロジェクトを推進する。	808	
3	創生	継続	るもい産業担い手支援モデル事業	27 ~ 31	地域における後継者確保対策、起業や新たな事業アイデアの具体化などの課題に対し振興局としても地域と一体となって伴走支援をしていくための取組を推進する。	2,187	

4	創生	継続	るもい地域戦略的魅力創造発信事業(留萌振興局)	28 ~ 31	管内では、体験観光メニューの磨き上げ、教育旅行ルートの造成、近隣大都市へのPR等を行ってきた。今後の観光入込客数増加のためには、管内入り込みの9割を占める近隣大都市へのPRを実施すると共に、留萌管内を直接目的地とするための道外へのプロモーションへも注力する必要がある。	2,603
5	創生	継続	るもい“農”フル活用推進事業	28 ~ 31	留萌地域においては、良食味米の生産を中心に、小麦や大豆などの畑作や果樹、野菜、花き、酪農・肉牛などバラエティ豊かな農業を展開し、地域を支える基幹産業となっている。今後も引き続き留萌地域の特徴を最大限発揮するため、水田のフル活用及び硬質小麦(ルルロツソ)の産地化を推進する。	1,326
6	創生	継続	豊かな恵みを活かす水産業の振興支援事業	29 ~ 30	ホタテガイ養殖業の持続的発展を目指し、漁業者、民間企業、関係機関の連携し、生産工程の効率化や就労環境の改善に向けての取組を推進する。	504
7	創生	継続	天売島におけるアザラシ対策事業	29 ~ 31	北海道アザラン管理計画に基づき、天売島・焼尻島の漁業被害を軽減するため、夏期におけるアザラシの周年定着個体の半減を行うための捕獲・追い払い手法の検討を行う。	721
8	創生	継続	増毛山道推進事業	29 ~ 30	増毛山道の留萌側の再生がH27年度で完了し、H28年10月に留萌～石狩間の山道が全線開通したことから、自然や歴史・文化等について、道民等への一層の理解と利活用の促進、及び知識の普及を図るため、NPO法人増毛山道の会及び石狩振興局と連携した推進事業を実施する。	739
9	創生	新規	るもいライフ体験促進事業	30 ~ 31	留萌管内への移住定住につなげていくためには、留萌地域の魅力を実感してもらうことが重要であることから、振興局と管内市町村が連携し、体験移住に関する取組を集約・発信していくことにより、来萌や体験移住等の促進を図る。	571
10	コラボ	継続	西蝦夷300年新交流時代創造事業<Step2>	29 ~ 31	かつて「西蝦夷地」と呼ばれ、日本海交易の要衝として栄えた留萌地域の魅力再生に向けて、有効に活用できていない地域の財産や観光資源の利活用を図り、交流人口のさらなる拡大、移住・定住人口の増加につなげていく。	10,500
11	150年	新規	北海道150年記念・山道シンポジウム&松浦武四郎山道トレッキング事業	30	北海道150年事業のキーパーソンである松浦武四郎は、6回の蝦夷地探検の内、留萌管内を3度往来していることから、北海道150年事業として、増毛山道を中心にトレッキングやシンポジウムなどを通して武四郎の足跡を追体験する事業を展開し、北海道開拓期の歴史・文化遺産を次世代に継承する。	690
留萌振興局					地域創生推進事業 9事業(新規1事業)	10,700
					地域政策コラボ事業 1事業	10,500
					北海道150年事業 1事業(新規1事業)	690
					合計 11事業(新規2事業)	21,890
1	創生	継続	てっぺん宗谷へ！コラボDE移住・担い手対策事業(ACT 1、3)	27 ~ 31	人口減少や基幹産業の担い手不足が喫緊の課題とされている宗谷地域において、「発信力」「戦略力」「地域力」の強化を図り課題解決へと導くため、ポータルサイトや漁業支援フェアなどによる情報発信、地域おこし協力隊の研修会、宗谷で活躍する職業人の紹介等を実施する。	5,497

2	創生	継続	国境を越えた交流 海外との経済交流 促進事業	27 ~ 31	2018年は北海道とサハリンとの友好・経済提携20周年、北海道150年の節目の年にあたり、改めて、宗谷地域とサハリン州との歴史的な結びつきに注目が集まりつつある中、若い世代を含む、地域住民の方々にサハリン交流の歴史を再認識してもらい、未来へ引き継いでいくための啓発事業を行う。	1,886
3	創生	継続	最北端・宗谷の「ショク×タビ」プロジェクト形成促進事業	27 ~ 31	管内の人口減少等によりマーケットが縮小する中、食と観光の企業間連携や地域食材の活用が十分ではないことから、地域における意欲的な事業者が連携する場を形成するとともに、個別相談やプロモーション、セミナー開催などといった地域企業等へのビジネスサポートを通じて、食と観光の一体的なプロジェクトを創出し、宗谷の食・観光関連産業の底上げを図る。	2,559
4	創生	新規	「宗谷の歴史・文化」魅力発信による観光地域づくり推進事業	30 ~ 32	宗谷管内に潜在する歴史的遺産や文化に注目し、テーマ性やストーリー性を重視した磨き上げを行い道内外へ発信するとともに、地域住民に観光資源の歴史的な価値を再認識させ、地元自身や誇りを持った観光ガイド等を育成することを目的とした観光地域づくりを推進することで、観光客の更なる誘客拡大を図る。	1,358
5	コラボ	継続	てっぺん宗谷へ！ コラボDE移住・担い手対策事業 (ACT2)	27 ~ 31	人口減少や基幹産業の担い手不足が課題とされている宗谷地域において、都市部の大学生等を地域に呼び込み、就業体験、一次産業への就業という一連の流れを定着させるため、市町村と協働で、都市部でのプロモーション及び就業体験ツアーを実施する。また、都市部からの教育旅行生を呼び込むための構想及び受入体制づくりを推進し、宗谷の魅力を発信するとともに地域の活性化を図る。	4,212
6	コラボ	継続	若手の力で宗谷をかえる！「SOYA fresh ☆ network」事業	29 ~ 31	これからの地域を担う若者が、宗谷について学びながら地域課題を共有し、その解決に向けて話し合うなど、若手世代の資質向上及び連携体制の構築を図ることにより、宗谷地域の一層の発展を目指す。	691
7	コラボ	継続	港区連携事業	29 ~ 31	地方創生を実現するため、北海道宗谷地域と東京都港区が互いの地域の特色を活かした連携事業を展開し交流人口及び経済交流を拡大する連携体制の構築を図ることを目的とした「北海道宗谷地域と東京都港区との連携プロジェクト」事業に参画し、宗谷地域の情報発信や交流人口の拡大、将来的には移住・促進を視野に事業を展開する。	597
宗谷総合振興局					地域創生推進事業 4事業(新規1事業)	11,300
					地域政策コラボ事業 3事業	5,500
					合計 7事業(新規1事業)	16,800
1	創生	新規	オールオホーツク来訪振興促進事業	30 ~ 32	外国人観光客の飛躍的な増加は大きなビジネスチャンスであり、オホーツク地域が有する食や景観などの豊かな地域資源の情報を魅力的に発信・拡散することにより来訪への動機付けとし、来訪人口の増加によって地域産業の活性化を図り、将来的に定住や地域活性化に繋げる。	3,107
2	創生	新規	オホーツク航空路線活性化事業	30 ~ 32	平成32年度の道内7空港一括民間委託を見据え、オホーツク地域の空の玄関口である女満別空港とオホーツク紋別空港について、空港自体の価値や魅力を底上げし、国内外の新規路線就航やチャーター便の誘致、既存路線の利用者数の増加を図るため、観光振興のみならず、企業誘致や経済交流、移住定住など各施策の推進と連動した空路利用の取組を併せて行い、地方創生及び地域の活性化に結びつけていく。	799

3	創生	新規	オホーツクみらい環境保全推進事業	30 ~ 32	オホーツク地域は、世界自然遺産の知床や流水などといった類い希な自然環境を有しており、みらいに向け守り続けることが重要であることから、地域の将来を担う子どもや観光等で訪れる国内外の来訪者に対し、環境保全に係る意識醸成・啓発活動に取り組む。	600
4	創生	新規	オホーツク・スポーツブランド化推進事業	30 ~ 32	2018年の平昌オリンピック、2020年の東京オリンピックの開催を控え、スポーツ合宿誘致に係る機運醸成が高まっていることから、大会開催に伴う波及効果を地域振興に結び付けながら、管内市町村と連携して、地域特性等を活かしたスポーツ合宿の誘致に向けたPR活動やスポーツイベント等の振興を図りつつ、地域の活性化を促進させる。	980
5	創生	新規	知床世界自然遺産のインバウンド受け入れ体制の底上げ事業	30 ~ 32	知床世界自然遺産は外国人旅行者が増加しており受入体制を充実していく必要があるため、情報提供の英語化対応を進めるとともに地域一体の共通認識を醸成する。	1,000
6	創生	新規	オホーツク食のブランド戦略強化促進事業	30 ~ 32	オホーツク地域の食のブランド力を強化するため、地域の産学官金が連携・協働し、管内外・道内外への情報発信・PRや商品の磨き上げの取組を行い、管内産品の高付加価値化や販路拡大等、管内の食関連産業の振興を図るとともに、オホーツク産農畜産物を使用した新たなスイーツ等加工品の商品開発、PR等を、生産から加工、販売までが一体となり地域を挙げた取組を実施することにより、オホーツク産農畜産物の6次産業化や海外へ販路拡大など高付加価値化を定着・促進させ、地域経済の活性化やインバウンドも含めたオホーツク地域への来訪促進、「オホーツク」の知名度向上等に寄与する。	2,903
7	創生	新規	オホーツク型耕畜連携確立事業	30 ~ 32	オホーツク型の耕畜連携体制を構築し、畑作及び酪農・畜産の持続的発展と農業経営の安定向上を図る。	700
8	創生	継続	オホーツク農業女性ステップアップ事業	28 ~ 30	オホーツクの農業を支える就業人口の半数を占める女性は、農業の基幹的従事者となっており、農業や地域活動の担い手として重要な役割を果たしている中、柔軟性のある強い経営体を作るためには、女性の経営参画が必要不可欠であるため、農業技術や知識の習得の場を創設し、農業経営者としての資質向上を図る。	380
9	創生	新規	オホーツクICT農業活用支援事業	30 ~ 32	管内におけるGNSSガイダンスシステムや搾乳ロボット、自動給餌機などICTを利用した農業用機械等の導入拡大と効果的な利活用を進めるため、研究・普及・行政・農業団体が一体となった推進体制を構築し、ICT農業の実態把握や導入効果を検証するとともに、農家への効果的な普及を図る手法を検討することにより、効果的な指導方法の確立を図る。	932
10	創生	継続	オホーツク若年層地域定着支援事業	28 ~ 30	地域の基幹産業である農林水産業の担い手不足の解消には、若年層の地域定着を促進させることが重要であり、オホーツク地域の大学と連携し新たなインターンシップ制度を創設し、大学生が地域の農林水産業を体験することで、やりがいや魅力を提供し、若年層を農林水産業の担い手として地域定着を促進する。	2,100
11	創生	新規	オホーツク東部流域地域材活用見える化推進事業	30 ~ 32	オホーツク東部流域は、道内屈指の林業地帯であるとともに木材の生産基地であるが、地元での地域材の活用は十分とは言えない状況であり、さらなる地域材地消の取組を推進するため、川上から川下に至る関係者が情報を共有する体制を整備することにより、スムーズな地域材活用スタイルを構築する。	600

12	創生	新規	オホーツク東部地域 造林未済地発生防 止モデル事業	30 ~ 32	オホーツク東部地域は、造林未済地(伐採後3年以上造林 されない伐採跡地)が多く、今後もカラマツ人工林を中心と した伐採による新たな造林未済地の発生が予想されること から、造林未済地を発生させないための対策が必要であ り、造林未済地が全道一多い北見市をモデル地区とし、道・ 市・森林組合が連携して、森林所有者に対し、伐採実施前 に、森林の役割や補助事業を活用した適切な森林整備に 関する普及・啓発を行い、計画的な森林施業を促進する。	199	
13	コラボ	継続	オホーツクイメージ 形成・発信プロジェ クト	29 ~ 31	地域の活性化を図るため、振興局と管内18市町村が役割 分担をしながら連携し、これまでにない大規模プロモーション を実施。オホーツク地域の優れた農林水産物、流氷や世 界自然遺産知床等観光資源の磨き上げなどにより、食や観 光を始めとする地域におけるブランドイメージの形成・浸透 を図るとともに、地域が一体となって「オホーツク」を発信し ていけるよう住民に向けた地域意識の醸成に取り組む。	5,500	
14	150年	新規	オホーツク150パネ ル展	30	「北海道」命名150年となる2018年を全道的に盛り上げ るため、オホーツク総合振興局では、「未来(次の50年＝北 海道200年)に残したいオホーツク」をテーマに、題材を各 市町村から集め、パネルを作成し管内各地でパネル展を開 催し、北海道150年への地域意識の醸成を図る。また、開 催は「オホーツクール」や松浦武四郎関連、管内みらい事業 のPR品を同時に展示することとし、「オホーツクール」の浸 透と150年に関心のない層に対しての興味付けを併せ行 う。	140	
オホーツク総合振興 局						地域創生推進事業 12事業(新規10事業)	14,300
						地域政策コラボ事業 1事業	5,500
						北海道150年事業 1事業(新規1事業)	140
						合計 14事業(新規11事業)	19,940
1	創生	継続	とちか「食と観光」連 携推進事業	29 ~ 32	交流人口の増加及び地域経済の活性化のため、十勝の 強みである食と観光を最大限活用した誘客促進や魅力発 信等の取組を重点的に推進する。	7,097	
2	創生	継続	とちか地域資源活 用・価値創造事業	27 ~ 32	十勝は、豊富なバイオマスの利活用及び水素エネルギー の変換に関する取組みの先進地であるため、取組状況に 対し広く普及啓発を行い、理解を促し利活用の促進を図る。 また、環境関連イベントでの環境学習体験等の取組を通じ て、十勝流エコライフの定着・促進を図る。	669	
3	創生	継続	とちか自然の魅力 アップ観光推進事業	29 ~ 32	日本百名山の1つである大雪山系「トムラウシ山」の山岳 環境問題に取り組み、貴重な環境を保全し、魅力ある観光 資源を提供することで、利用を促進し観光の振興を図る。	1,045	
4	創生	継続	生産量NO.1 十勝ス イートコーンクライシ ス! アライグマバス ターズプロジェクト事 業	29 ~ 30	十勝の安定的な農業生産を守るため、アライグマの農業 被害を未然に防ぎ、「食」の拠点である十勝の農業振興を図 る。	207	
5	創生	新規	バイオガス資源地域 活用促進プロジェ クト事業	30 ~ 32	近年、管内で整備が進む家畜ふん尿等を活用した「バイ オガスプラント」について、エネルギー化する際に発生する「消化液」 の畑作農地へ還元方法等を調査・検討し、整備予定地区及 び稼働地区に対し効果的な利用方法を広めていく。	1,400	
6	創生	新規	楽々スマート農業活 用事業	30 ~ 32	近年、GPSを活用したトラクターの自動化やロボット技術 の導入が管内農家に普及しているが、経営主が主にその作 業に従事している現状。女性農業者やコントラクター組織 への理解促進・普及拡大を図るため、各種機器の体験等 を通じ、スマート農業の更なる普及拡大を図る。	728	

7	創生	継続	航空宇宙関連産業と連携した地域産業育成事業	28 ~ 32	航空宇宙関連の取組を通じた交流人口の拡大や関連産業の集積による力強い地域経済を形成するため、航空宇宙の理解促進に向けた管内外への情報発信をはじめ、管内における関連ビジネスの芽の創出支援や関連人材の育成を行う。	1,514	
8	創生	継続	輝らっ！とかち女性活力(ジョカツ)創造事業	27 ~ 31	十勝でキャリアアップを目指す女性など働き方の参考となるロールモデルの輩出、活躍されている女性をつなぐネットワーク作りなど、女性の活力により本人も地域も輝く一助となるような取組を展開する。	540	
9	コラボ	継続	十勝アクティブシニア移住交流促進事業	28 ~ 31	健康で活動的なシニア層(アクティブシニア)の十勝地域への中長期的な移住・交流を図るため、食や自然といった十勝の魅力を生かした取組みを展開し、「交流人口の拡大」と「シニア層の知見・経験を取り込んだ地域づくり」につなげていくもの。	3,886	
10	150年	新規	北海道150年、温故知新「とかちのむかし・いま・みらい」を知り、学ぶ	30	松浦武四郎関係の所蔵を多く有する十勝管内の団体、民間企業や北海道みらい事業を実施する市町村と連携し、北海道命名者である松浦武四郎を核とする事業を実施することにより、北海道150年事業の気運醸成を図る。	953	
十勝総合振興局						地域創生推進事業 8事業(新規2事業)	13,200
						地域政策コラボ事業 1事業	3,886
						北海道150年事業 1事業(新規1事業)	953
						合計 10事業(新規3事業)	18,039
1	創生	継続	オールくしろ魅力発信事業	28 ~ 32	くしろ地域の交流人口を拡大し地域の活性化を図ることを目的に、「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」を母体として、道東自動車道の釧路延伸を契機とした道央圏等へのプロモーション活動の実施を通じてくしろ地域の様々な魅力を発信する。	3,600	
2	創生	継続	道東くしろ誘客促進事業	28 ~ 30	平成28年3月に阿寒ICが開通するなど、道東道釧路延伸は観光客の入り込みに追い風となっているが、この好機を逃さず管内の魅力を広く国内外にPRしていくことが必要であり、情報発信を強化するとともに、プロモーション活動を継続して、交流人口を拡大し地域経済の活性化を図る。	1,000	
3	創生	継続	「くしろ」移住・定住推進事業	29 ~ 31	人口減少下における「くしろ」の持続的発展に向け、交流人口の拡大及び移住・定住による人口の増加につなげるため、地域が連携して三大都市圏などの都市部の現役世代などに向けて、地域の魅力発信の強化を図るとともに、受入体制の整備に向けた取組を進める。	1,000	
4	創生	継続	輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジング事業(釧路)	27 ~ 31	根釧市町村・農協関係者が、根釧酪農・地域の持続的発展に向け、27年2月に策定した「根釧酪農ビジョン」の方向性に即し、関係者と連携しながら、「草地型酪農の推進」、「担い手の育成確保」及び「高付加価値化の推進」に資する取組を推進することにより、根釧の基幹産業である酪農生産基盤を強化するだけでなく、人口減少社会に対応し、地域経済社会の維持・拡大を図る。	2,300	
5	創生	新規	スポーツを通じた地域の魅力創出事業	30 ~ 32	「くしろ」の夏期の冷涼な気候などの地域特性を活かし、スポーツ合宿の誘致による誘客を促進するため、官民連携により誘致活動を強化し、スポーツを通じた地域の新たな魅力を創出するなど、地域の活性化に向けた取組を進める。	3,200	

6	コラボ	継続	北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業	29 ~ 31	くしろ地域の交流人口を拡大し地域の活性化を図ることを目的に、「くしろ圏観光キャンペーン推進協議会」及び「北海道釧路地域・東京特別区交流推進協議会」を母体として、釧路地域特有の自然や体験型観光、温泉、森林浴等の地域資源を活かした魅力ある教育旅行やヘルスツーリズム向けの商品造成を検討し、首都圏をターゲットとしたプロモーション活動を管内市町村及び東京特別区と連携を図りながら実施する。	3,290	
7	150年		くしろ地域「北海道150年物語」広報・PR事業(仮称)	30	釧路市内においてパネルの展示会や講演会などによる北海道150年のPRを実施し、北海道150年に関わるパネル展においてチラシを配布するなど、北海道150年事業の認知度向上に寄与。	300	
釧路総合振興局						地域創生推進事業 5事業(新規1事業)	11,100
						地域政策コラボ事業 1事業	3,290
						北海道150年事業 1事業(新規1事業)	300
						合計 7事業(新規2事業)	14,690
1	創生	継続	少子・高齢社会における子育て支援事業	27 ~ 31	全国的にも大きな課題となっている「少子化(人口減少)」の歯止めの一助として、地域の中で、住民参加により子育てをサポートする環境づくりを目指す。このため、地域全体で子育てを支える意識の醸成を図り、多世帯・多世代間の結びつきを深めながら、先輩ママや高齢者、保育中の世帯など、地域住民がボランティアとして子育てに参加し、住んでいる地域の中で、子育てをしやすい環境・安心して子育てできる環境を整え、子育て世帯の負担軽減を図る。	660	
2	創生	継続	根室地域医療従事者確保事業	27 ~ 31	根室地域として、医師、薬剤師、看護師及び准看護師の確保対策を行うこととし、関係機関の連携により、根室地域の居住に少しでも関心を向けるために、地域の受け入れ体制を構築する。	392	
3	創生	継続	輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジング事業(根室)	27 ~ 31	我が国最大の生乳生産地域であり、関連産業とともに地域の経済と雇用を支える根釧地域の酪農について、農業の国際交渉の進展や離農・農業従事者の高齢化、飼料価格の高止まりなど様々な課題を抱える中で、市町村やJA、企業等が連携し、「根釧酪農ビジョン」に掲げる根釧酪農や地域の将来像の実現に向けて、地域の強みを活かした取組を進める。	1,917	
4	創生	継続	根室水産物ブランド化推進事業	29 ~ 31	ロシア水域におけるさけ・ます流し網漁業が禁止されたことにより、代替漁業で漁獲されるサバ類・マイワシや、加工原料をサケ・マスから国産原料へ転換したことに伴う新商品などのPRを行い、根室地域水産物のブランド化を推進し、代替漁業の自立と地域で循環する関連産業の確立を図る。	2,200	
5	創生	継続	ねむろ食の商品力強化事業	27 ~ 31	根室地域で生産される商品の付加価値を向上させるために、専門家の知見を活用し、根室の良質な食資源を作り手の思いが伝わるよう商品力を強化し、根室地域の食のブランド力を高め、さらなる販路拡大・強化を図る。また、官民一体となった地域の取組を推進するために、消費者向けのイベントへの参加や販路拡大のための商談会等の支援を行う。	989	

6	創生	継続	ねむろ観光交流推進事業(根室振興局)	27 ~ 31	人口減少問題に対応し、観光面における根室地域の域外からの交流人口の増加を図るため、地域の特性・資源を活かし、体験型観光に携わる管内民間団体等が連携した取組への支援や、道東4振興局が連携しての戦略的な個人旅行の誘致により、豊かな自然環境、地域の産業・文化などと調和した観光の確立及び地域の優位性を活かした観光地づくり推進する。	573	
7	創生	継続	移住交流の促進に向けたねむろの魅力発信事業	27 ~ 31	移住希望者を根室管内に呼び込むために、移住希望者への働きかけを行うとともに、「ねむろ地域の魅力」をPRするため、ブログポータルサイト等を活用した継続的な情報発信を実施するほか、地域おこし協力隊員を中心に管内移住者のネットワークを形成し、地域における移住促進に向けた意識醸成を図る。	713	
8	創生	新規	北方領土モノがたり事業	30 ~ 32	北方領土問題の発生から70年以上の年月が経過しており、北方領土返還要求運動の機運醸成を図るため、北方領土問題に「触れる」・「学ぶ」・「知る」の3本を軸に普及啓発及び隣接地域の振興対策を促進する。	2,095	
9	創生	新規	根室地域産エゾシカ肉の有効活用促進事業～地域資源としてのエゾシカ「根室ディア」ブランド化に向けた取組み～	30 ~ 32	根室管内で年間約8,000頭捕獲されるエゾシカの有効活用を効果的に進める手段として、一定の要件(管内の認証加工場で処理されたこと等)をクリアしたエゾシカ肉を「根室ディア」(※安心安全な地域ブランド肉)として管内流通させるとともに、当該肉で共通メニューを創作、登録参加店や学校給食での提供を通じて、エゾシカ肉の活用を促進する。また、郷土食としての定着化を図り、道内外から根室管内への観光入込数等の増加を図り、地域経済への波及を目指す。さらに当該事業の相乗効果として管内の認証施設数を増加させる。	561	
10	コラボ	継続	自然と食の魅力あふれるオール根室ブランド強化推進事業	28 ~ 32	人口減少問題に対応し、根室地域の域外からの交流人口の増加、観光産業の振興を図るため、自然と食を活かした教育旅行や大学ゼミ合宿の誘致や、自然観光に訪れる個人旅行客(外国人を含む)の受入体制の整備など、地域一体となった広域的な観光地づくりに取組む。	5,500	
根室振興局						地域創生推進事業 9事業(新規2事業)	10,100
						地域政策コラボ事業 1事業	5,500
						合計 10事業(新規2事業)	15,600
合計						地域創生推進事業 98事業(新規22事業)	169,708
						企業版ふるさと納税活用事業 2事業(新規1事業)	2,092
						地域政策コラボ事業 18事業(新規1事業)	82,090
						北海道150年事業(新規9事業)	5,807
						合計 118事業(新規24事業)	259,697